

町田市立さるびあ図書館の存続を求める請願

<請願要旨>

町田市立さるびあ図書館は、1972年5月、町田市立町田図書館(本館)として現在の地に開館して以来、閑静な住宅地にある開放的な図書館として、市民に親しまれ続けている歴史ある図書館です。1990年に中央図書館が開館した際、市花の“さるびあ”を冠して、さるびあ図書館に改名されましたが、その後も近隣の小・中学校の子どもたちが安全で気軽に利用できる、地域になくてはならない図書館として機能し続けています。

また、43万人都市に市立図書館がわずか8館しかないことから生じる図書館サービス空白地域に移動図書館車を巡回させていますが、その基地としても重要な役割を担うとともに、中央図書館や他の地域館にはない独自のサービスも展開しています。

図書館中庭に駐車スペースがあることと移動図書館の基地であることを活かして、以下のように、学校教育や地域の読書ボランティアとの連携したサービスも担っています。

・学校及び学校図書館支援の役割

教育現場の要望に応じて、定期的な配本サービスを継続することにより、学校教育を支援しています。

・地域文庫・読書会・その他の団体の貸出拠点の役割

団体が車で来館し、選書した本を持ち帰ることが可能です。

貸出冊数が多い団体には、配本・回収サービスも実施しています。

ところが、「町田市5ヵ年計画 17-21」では、「貸出冊数は減少傾向にあることなど」を理由に、「8箇所ある図書館の再編を推進」するとしています。また、「公共施設再編計画」でも町田駅周辺で「中央図書館」と重複しているとして、「さるびあ図書館」が再編計画の俎上にあげられています。

しかし、必要な修繕と適切な改修を行えば、建物の長寿命化が図られ、もっと居心地の良い図書館に改善することが可能であると、専門家は指摘しています。

安全で静かな住宅地に立地しているさるびあ図書館は、地域住民だけの利用にとどまらず、専用駐車場があることにより、公共交通機関や徒歩での移動が困難な利用者も気軽に利用しています。移動図書館と共に全域的なサービスを担っている、この地になくてはならない図書館です。地域図書館としての役割と独自のサービスを一層発展させることを願い、以下の項目を実施するよう請願いたします。

<請願項目>

町田市立さるびあ図書館を今後も現在の場所に存続させること